

飯田線の沿革

- 1 路線距離 東海道本線豊橋駅から中央本線辰野駅まで195.7kmの電化路線
 複線区間:豊橋駅～豊川駅間(8.7km) 単線区間:豊川駅～辰野駅間(187.0km)
- 2 駅 数 94駅(豊橋駅、辰野駅を含む。)
- 3 沿革

(1) 飯田線の誕生

飯田線の誕生は1943年(昭和18年)の国鉄による戦時買収・一本化まで遡ります。それ以前は私鉄4社(豊川鉄道、鳳来寺鉄道、三信鉄道、伊那電気鉄道)が独自に整備・運行していました。

(2) 飯田線誕生以前の鉄道

- 豊川鉄道により豊橋側から工事が始まりました。1897年(明治30年)の吉田駅(現 豊橋駅)～一ノ宮駅(現 三河一宮駅)間の開業にはじまり、1900年(明治33年)に新城駅～長篠駅(現 大海駅)間が開業しました。これにより、約3年の歳月を経て吉田駅(現 豊橋駅)～長篠駅(現 大海駅)間が開業しました。
- 長篠駅(現 大海駅)以北の区間については鳳来寺鉄道により整備され、1923年(大正12年)に長篠駅(現 大海駅)～三河川合駅間が開業しました。これにより吉田駅(現 豊橋駅)～三河川合駅間が開業しました。
- 1892年(明治25年)の鉄道敷設法で、中央線の長野県内ルートとして「伊那谷を経て名古屋に至るルート」「木曾谷を経て名古屋に至るルート」が公表されました。最終的に木曾谷ルートに決定されたことから、伊那谷の有志らが「伊那電車軌道株式会社」(伊那電気鉄道の前身)を設立し、1909年(明治42年)に辰野駅～松島駅(現 伊那松島駅)間が開業しました。さらに、松島駅(現 伊那松島駅)以南について、1923年(大正12年)に飯田駅まで、1927年(昭和2年)に天竜峡駅までが開業しました。これにより、約18年の歳月を経て辰野駅～天竜峡駅間が開業しました。
- 吉田駅(現 豊橋駅)～三河川合駅間、辰野駅～天竜峡駅間の開業により、三河川合駅～天竜峡駅間の整備の構想が立ち上がり、この区間を整備するため三信鉄道が設立されました。1932年(昭和7年)の天竜峡駅～門島駅間の開業にはじまり、1937年(昭和12年)に大嵐駅～小和田駅間が開業しました。これにより、約5年の歳月を経て三河川合駅～天竜峡駅間が開業しました。
- 1897年(明治30年)の豊川鉄道による吉田駅(現 豊橋駅)～一ノ宮駅(現 三河一宮駅)間の開業から、1937年(昭和12年)の三信鉄道による大嵐駅～小和田駅間の開業まで、約40年の歳月を経て吉田駅(現 豊橋駅)～辰野駅間が1本の路線で結ばれました。

	豊川鉄道 (豊橋駅～大海駅)	鳳来寺鉄道 (大海駅～三河川合駅)	三信鉄道 (三河川合駅～天竜峡駅)	伊那電気鉄道 (天竜峡駅～辰野駅)
1897年(明治30年)	豊橋駅～三河一宮駅間 開業			
1898年(明治31年)	三河一宮駅～新城駅間 開業			
1900年(明治33年)	新城駅～大海駅間 開業			
1909年(明治42年)				辰野駅～伊那松島駅間 開業
1911年(明治44年)				伊那松島駅～北殿駅間 開業
1912年(明治45年)				北殿駅～伊那市駅間 開業
1913年(大正2年)				伊那市駅～宮田駅間 開業
1914年(大正3年)				宮田駅～伊那福岡駅間 開業
1918年(大正7年)				伊那福岡駅～高遠原駅間 開業
1920年(大正9年)				高遠原駅～上片桐駅間 開業
1922年(大正11年)				上片桐駅～伊那大島駅間 開業
1923年(大正12年)		大海駅～三河川合駅間 開業		伊那大島駅～飯田駅間 開業
1925年(大正14年)	豊橋駅～大海駅間 電化	大海駅～三河川合駅間 電化		
1926年(大正15年)				飯田駅～伊那八幡駅間 開業
1927年(昭和2年)				伊那八幡駅～天竜峡駅間 開業
1932年(昭和7年)			天竜峡駅～門島駅間 開業	
1933年(昭和8年)			三河川合駅～東栄駅間 開業	
1934年(昭和9年)			東栄駅～中部天竜駅間 開業	
1935年(昭和10年)			門島駅～温田駅間 開業	
1936年(昭和11年)			温田駅～小和田駅間 開業	
1937年(昭和12年)			中部天竜駅～大嵐駅間 開業	
1943年(昭和18年)	豊川鉄道、鳳来寺鉄道、三信鉄道、伊那電気鉄道の私鉄4社が国有化され、「飯田線」となる			
1961年(昭和36年)	準急「伊那」(名古屋駅～辰野駅間)、準急「天竜」(新宿駅～飯田駅間)運行			
1963年(昭和38年)	準急「赤石」(新宿駅～飯田駅間)運行。準急「伊那」「天竜」「赤石」を急行化			
1968年(昭和43年)	急行「赤石」「天竜」の一部(新宿編成)を「こまがね」に改称			
1983年(昭和58年)	急行「伊那」廃止。急行「天竜」を快速化(松本以南)			
1986年(昭和61年)	急行「こまがね」廃止。急行「天竜」を「かもしか」に改称。一部を快速「みすず」として運行			
1987年(昭和62年)	国鉄分割民営化。JR東海が継承。豊川駅～元善光寺駅間の貨物列車の運行終了			
1988年(昭和63年)	急行「かもしか」廃止。			
1992年(平成4年)	臨時特急「伊那路」(豊橋駅～飯田駅間)運行			
1996年(平成8年)	臨時特急「伊那路」を特急として定期化。元善光寺駅～辰野駅間の貨物列車の運行終了			
2010年(平成22年)	「秘境駅号」運行			
2013年(平成25年)	鼎駅、元善光寺駅、沢渡駅、伊那北駅が無人化。飯島駅、駒ヶ根駅、伊那松島駅が自治体へ委託 長野県内のJR管理の有人駅は、天竜峡駅、飯田駅、伊那市駅となる			
2017年(平成29年)	飯田線全線開通80周年			
2019年(令和元年)	急行「飯田線秘境駅号」クールジャパンアワード2019受賞			
2020年(令和2年)	急行「飯田線秘境駅号」10周年			

大嵐駅～小和田駅間の開業により、豊橋駅～辰野駅間が全線開通となる。